

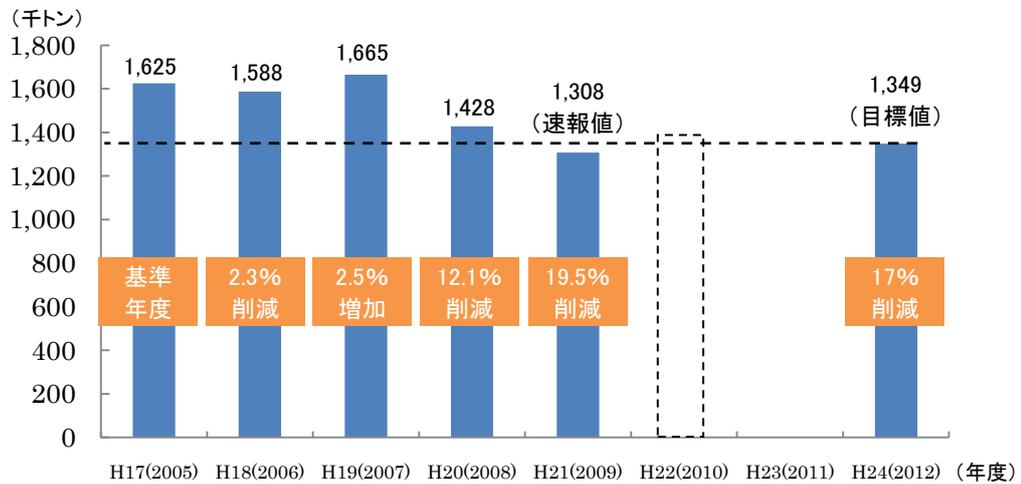
## 枚方市地球温暖化対策地域推進計画に基づく取り組み状況

### 1. 地球温暖化対策地域推進計画の達成状況

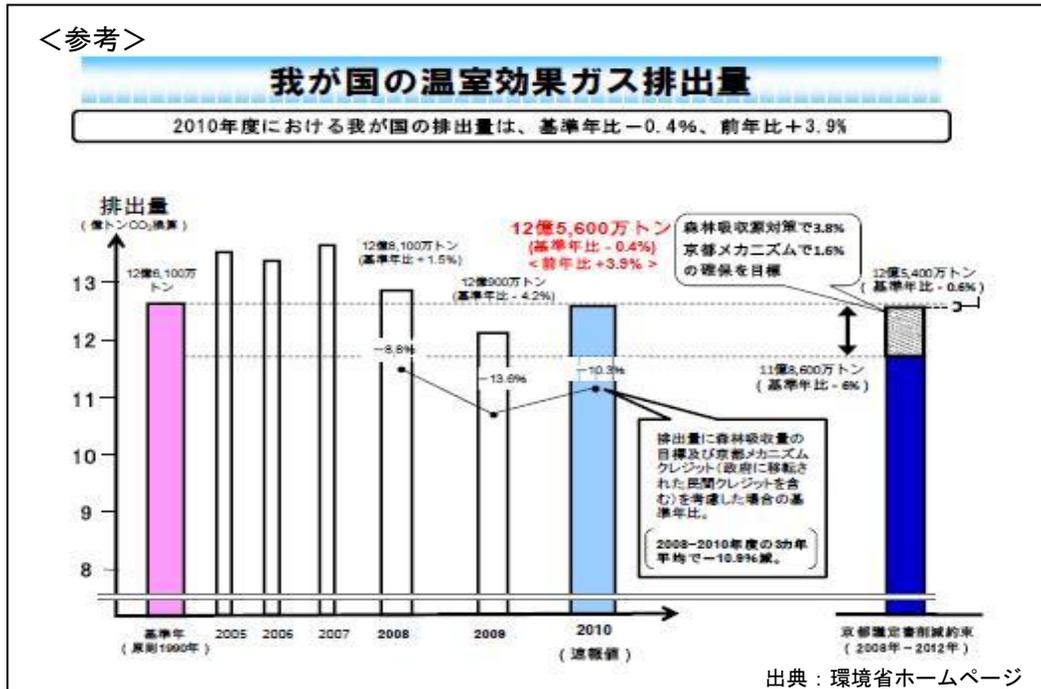
#### (1) エネルギー起源二酸化炭素排出量の状況

エネルギー起源二酸化炭素排出量の推計結果は、平成 20 年度で約 1,428 千トンとなっており、基準年度である 17 年度と比較して 12.1%削減しています。また、平成 21 年度は、速報値で約 1,308 千トンとなっており、基準年度と比較して 19.5%削減しています。

なお、計画では平成 24 年度に 17 年度と比較して 17%削減することを目標に掲げており、21 年度の水準で推移すれば、目標を達成できる見込みですが、22 年度は全国的に景気後退からの回復や猛暑厳冬によりエネルギー消費が増えているため、本市においても二酸化炭素排出量は増加することが予想されます。



エネルギー起源二酸化炭素排出量の推移



(2) 部門別エネルギー起源二酸化炭素排出量の状況

部門別エネルギー起源二酸化炭素排出量の推計結果は、以下のとおりです。平成20年度における排出量の構成比は、産業部門が30%、民生業務部門が26%、民生家庭部門が28%、運輸部門が16%となっています。すべての部門において、基準年度である17年度と比較して20年度及び21年度（速報値）の排出量は減少しています。

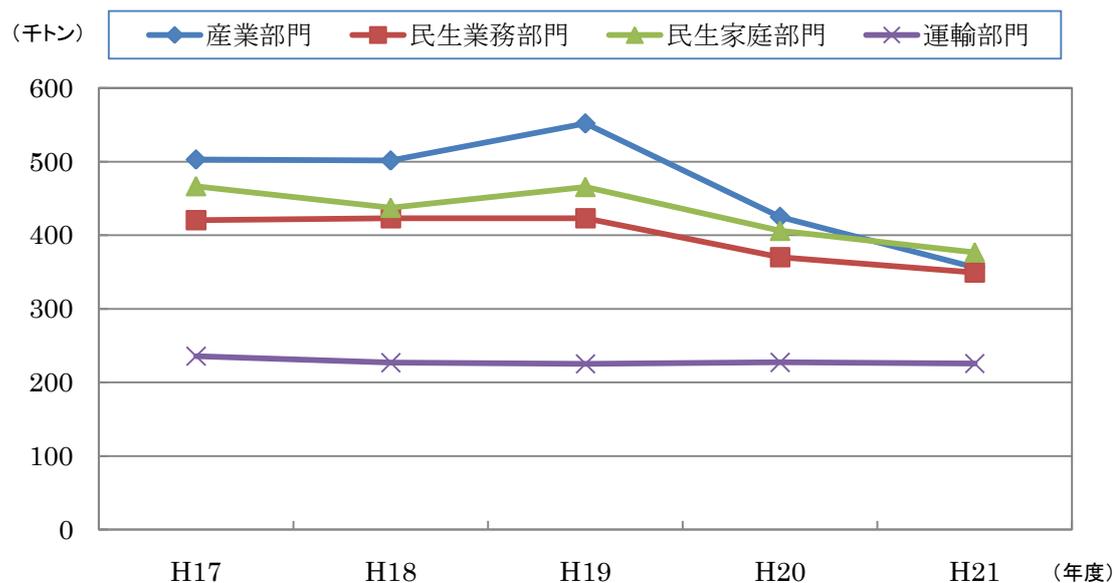
部門別エネルギー起源二酸化炭素排出量

(単位：千t-CO<sub>2</sub>)

部 門	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度 (速報値)
産業部門	503 (31%)	501 (32%)	552 (33%)	425 (30%)	356 (27%)
民生業務部門	420 (26%)	423 (27%)	423 (25%)	370 (26%)	349 (27%)
民生家庭部門	467 (29%)	437 (28%)	465 (28%)	406 (28%)	377 (29%)
運輸部門	236 (15%)	227 (14%)	225 (14%)	227 (16%)	226 (17%)
合計	1,625	1,588	1,665	1,428	1,308

※ ( ) は部門別の構成比

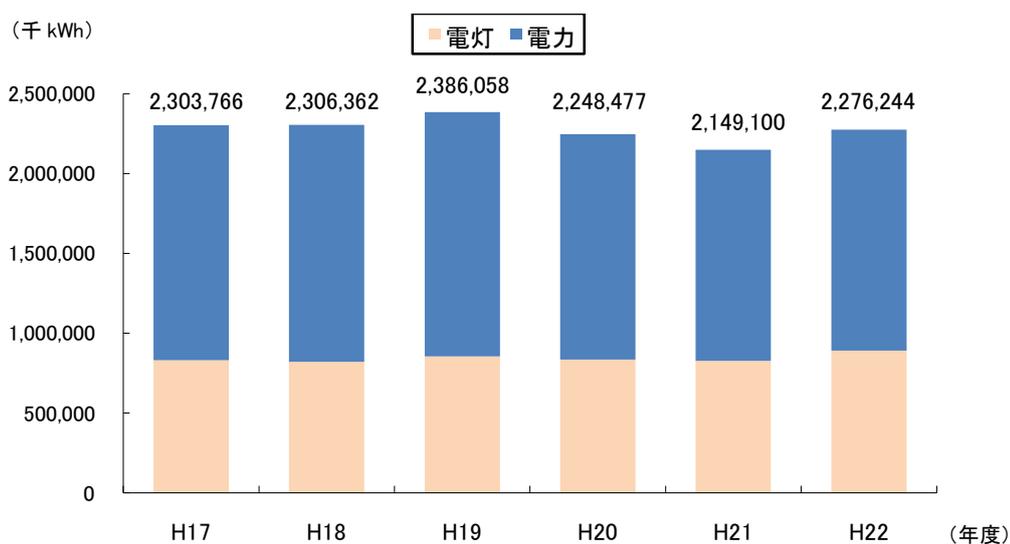
※四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。



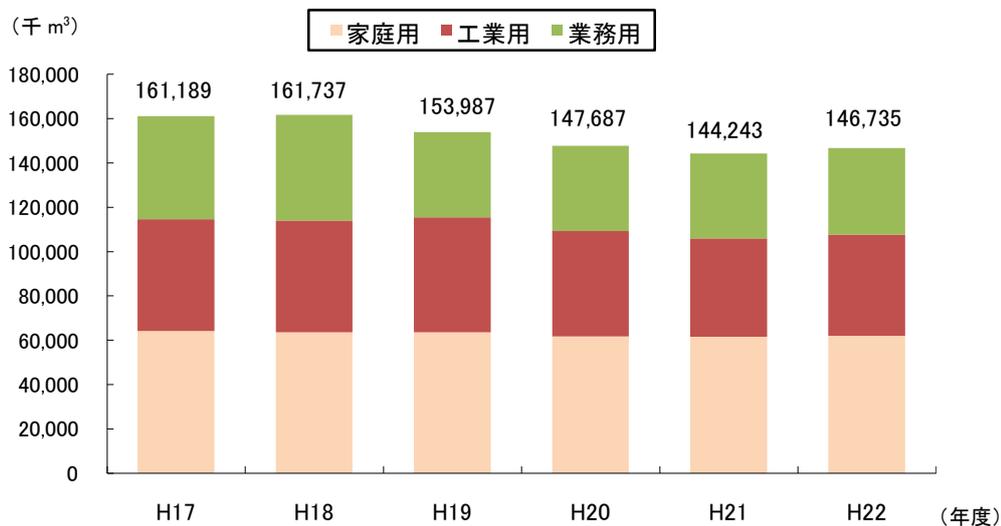
部門別エネルギー起源二酸化炭素排出量の推移

### (3) 電力及び都市ガス需要量の状況

平成 22 年度の市内の電力需要量は 2,276,244 千 kWh となっており、21 年度より 5.9% 増加しています。また、平成 22 年度の市内の都市ガス需要量は 146,735 千 m<sup>3</sup> となっており、21 年度より 1.7% 増加しています。



電力需要量の推移



都市ガス需要量の推移

## 2. 地球温暖化対策地域推進計画に基づく取り組み

I. 温室効果ガス排出の少ないライフスタイル・ビジネススタイルへの転換	
1. 省エネルギー型ライフスタイルの普及	
2. 家電製品等における省エネルギー製品の普及	
3. 商業施設・オフィス等における省エネルギー活動の展開	

・家庭における省エネ・省 CO<sub>2</sub> 行動を促進するため、「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」や「ひらかたエコチェック DAY」などの新たな取り組みを実施しました。参加者数は年々増加しています。

・省エネ製品の普及に向けて、高効率給湯器などの省エネ設備を導入する市民に対して、補助を行いました。また、家電販売店等に省エネ製品の普及に向けた協力をお願いするとともに、市ホームページやエコレポートなどを通じて省エネ製品の情報提供を行いました。

・事業活動による温室効果ガスの排出抑制の取り組みを促進するため、太陽光発電システムや LED 照明の導入、ISO14001 やエコアクション 21 の認証取得を行う事業者に対して補助を行いました。

・平成 21 年 4 月に市内事業者とともに、地球温暖化防止に向けた取り組みを進めるため、「枚方市地球温暖化対策協議会」を設立しました。会員企業数や協議会による取り組み件数は拡大傾向にあります。

### <実績>

#### 1. 省エネルギー型ライフスタイルの普及

##### ○ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ

小学生を対象に家族でエコライフの実践度を相互にチェックすることも版環境家計簿「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」の作成・配布を行った。

(参加者数：H21年度 751人、H22年度 1,097人、H23年度 1,263人)

##### ○地球温暖化に関する環境講座等の開催

家庭でできるエコ対策や新エネルギーなどに関する地球温暖化防止に向けた講座を開催した。

(開催回数：H21年度 4回、H22年度 6回、H23年度 5回)

##### ○ひらかたエコチェックDAY

NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携し、チェックシートを用いて日常のCO<sub>2</sub>削減行動をチェックする「ひらかたエコチェックDAY」の取り組みを実施した。

(参加者数：H21年度 4,952人、H22年度 8,969人、H23年度 11,012人)

##### ○ひらかた夏（冬）の節電大作戦

市民に節電を呼びかける「ひらかた夏（冬）の節電大作戦2011」を実施した。

○ひらかたエコライフキャンペーン

「COOL BIZ」「WARM BIZ」の推奨や冷暖房の適正温度（夏季：28℃、冬季20℃）の設定を市民・事業者に呼びかけるキャンペーンを実施した。

## 2. 家電製品等における省エネルギー製品の普及

○住宅への省エネ設備導入の促進

太陽光発電システムの設置にあわせて、省エネ設備（高効率給湯器など）を住宅に導入する市民にその経費の一部を助成した。

（交付件数：H23年度 28件（予定））

## 3. 商業施設・オフィス等における省エネルギー活動の展開

○ISO14001 及びエコアクション 21 認証取得の促進

ISO14001 及びエコアクション 21 の認証を取得しようとする中小企業者に対し、経費の一部を補助した。

（計画申請数：H21年度 6件、H22年度 2件）

（助成申請数：H21年度 8件、H22年度 3件）

○「エコ」工場化の促進

太陽光発電システムやLED照明を導入する事業者に経費の一部を補助した。

（太陽光発電システム補助件数：H22年度 1社）

（LED照明補助件数：H22年度 3社）

○LED照明導入の促進

商店街等が街路灯にLED照明を導入する際に要する経費の一部を補助した。

（補助件数：H22年度 9件）

○枚方市地球温暖化対策協議会の設立

枚方市地球温暖化対策協議会を平成21年4月に設立し、省エネセミナーの開催など温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みを市内事業者とともに実施した。

（会員企業数：H24年1月末現在 114社）

○ライトダウンキャンペーン

ライトアップ施設や家庭の照明の消灯を呼びかけるキャンペーンをNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議や枚方市地球温暖化対策協議会とともに実施した。

（協議会参加企業数：H21年度 21社、H22年度 40社、H23年度 43社）

<b>Ⅱ. 温室効果ガス排出の少ない都市構造の実現</b>	
<b>1. 建築物における省エネルギー化の促進</b>	
<b>2. 暑気対策の展開</b>	
<b>3. 都市緑化の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地や農地などは、うるおいとやすらぎのある都市空間の形成に役立つだけでなく、ヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素の吸収源となるなど、地球温暖化防止に大きな役割を果たすことから、公園の整備、公共施設の緑化、里山・農地の保全などの緑の保全・創出に向けた取り組みを行いました。</li> <li>・緑のカーテンの普及に向けて、緑のカーテンモニターやコンテストを実施しました。参加者数は、年々増加しており、市民・事業者の環境意識の高まりが伺えます。</li> </ul>	

### <実績>

#### 1. 建築物における省エネルギー化の促進

##### ○住宅の断熱化の促進

太陽光発電システムの設置にあわせて、窓の断熱設備を住宅に導入する市民にその経費の一部を助成した。

(交付件数：H22年度 23件、H23年度 14件(予定))

#### 2. 暑気対策の展開

##### ○緑のカーテン

緑のカーテンモニターやコンテストを実施することにより、緑のカーテンの普及を推進した。また、学校園や公共施設においても緑のカーテンの取り組みを行った。

(コンテスト参加者数：H21年度 45人、H22年度 45人、H23年度 79人)

(モニター参加者数：H21年度 145人、H22年度 133人、H23年度 190人)

##### ○打ち水

夏の各種イベントにおいて、打ち水体験を実施するとともに、市内で一斉に打ち水を行う「打ち水大作戦」を実施した。

(協力企業数：H23年度 39社)

##### ○ドライ型ミスト

水を活用した暑気対策の普及啓発を行うため、市民に涼感を与えるドライ型ミストを試験的に導入した。

#### 3. 都市緑化の推進

##### ○森林ボランティアの育成

里山保全に携わる森林ボランティアを育成するため、里山講座を開催した。

(参加者数：H21年度 30人、H22年度 30人、H23年度 30人)

#### ○里山の保全

各地区の森づくり委員会の開催や里山保全活動団体との意見交換会を実施するとともに、里山保全の普及・啓発イベントを開催した。また、「枚方市東部地域里山保全基金」を活用し、里山保全活動団体に対して、補助金を交付することにより、活動を支援した。

(イベント開催回数：H21年度 2回、H22年度 3回、H23年度 2回)

(補助金交付団体数：H21年度 6団体、H22年度 6団体、H23年度 6団体)

#### ○自然環境調査

自然環境の特性・野生動植物の現況と今後予測される変化について把握するため、現在、自然環境調査を実施している。

#### ○自然観察会

自然環境を身近に感じてもらうため、野鳥や昆虫、植物、水生生物などの自然観察会を実施した。

(参加者数：H21年度 計130人、H22年度 計154人、H23年度 計235人)

#### ○ビオトープの整備

自然観察や自然とのふれあいの場となるビオトープの整備を小中学校で行い、現在、王仁公園ビオトープの整備を行っている。

#### ○緑化の啓発

「緑化フェスティバル」や「花いっぱい運動」、「緑化講習会」など各種緑化啓発事業を実施した。

#### ○緑のじゅうたん

学校、保護者、地域が連携して、市立小中学校の校庭の一部を芝生化し、教育活動や地域行事等に活用した。(整備校数：H23年度 63校(累計))

#### ○環境保全型農業の推進

環境にやさしい農業を推進するために、農薬と化学肥料の使用量を通常の5割以下に抑えて栽培された大阪エコ農産物の普及・拡大を図っている。また市民に安らぎや潤いを与える良好な景観を推進し農空間の保全を図るため、コスモスやひまわりなどの作付けに対する補助を行っている。エコレンゲ米生産に際して、レンゲ草を有機肥料として使い施肥量の軽減を図る目的としてレンゲ種子の購入に対する補助を行った。

(大阪エコ農産物申請件数(個人申請)：H21年度 305件、作付面積 1,077.71a  
H22年度 335件、作付面積 1,222.32a)

(大阪エコ農産物申請件数(集団申請)：H21年度 2件、作付面積 3,337.05a  
H22年度 2件、作付面積 3,000.65a)

(景観形成作物(コスモス・ひまわり)：H21年度 作付面積 369.53a  
H22年度 作付面積 399.06a)

(レンゲ種子購入補助：H21年度 2,147kg、H22年度 1,850kg)

<b>Ⅲ. 温室効果ガス排出の少ない交通体系の形成</b>	
<b>1. 公共交通機関・自転車利用の促進</b>	
<b>2. エコドライブの普及</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の利用を促進するため、公共交通活性化マップを作成し、市内転入者に対して配布を行いました。</li> <li>・エコドライブの普及に向けて、講習会等を開催するとともに、エコドライブモニターを募集し、エコドライブ計測装置の貸し出しを行いました。</li> </ul>	

### <実績>

#### 1. 公共交通機関・自転車利用の促進

##### ○公共交通利用啓発活動の推進

市内転入者に対して公共交通活性化マップの配布を行った。また、イベント用のマップを利用したスタンプラリーを実施した。

(市内転入者配布件数：H21年度 10,272件、H22年度 9,214件)

##### ○ノーマイカーデーの推進

毎月20日のノーマイカーデーを推進するため、広報紙やFM放送等により、普及・啓発活動を行った。

##### ○エコ通勤の普及促進

枚方市地球温暖化対策協議会の会員事業所で「エコ通勤アンケート」を実施するとともに、枚方市役所においてエコ通勤ウィークを実施した。

##### ○駅前広場の整備

駅利用者の利便性を確保し、交通環境の改善を図るため、牧野駅や長尾駅の駅前広場の整備を進めている。

#### 2. エコドライブの普及

##### ○エコドライブ講習会等

市民や事業者向けのエコドライブ講習会等を開催した。

(開催回数：H22年度 1回、H23年度 2回)

##### ○エコドライブモニター

エコドライブモニターを募集し、エコドライブ計測装置の貸し出しを行った。

(貸出件数：H22年度 5件)

#### IV. 温室効果ガス排出の少ない新エネルギーの普及

##### 1. 自然エネルギー利用の普及

##### 2. クリーンエネルギー自動車の普及

- ・住宅用太陽光発電システムを導入する市民に対して、補助を行いました。現在、メガソーラー10基分に相当する規模の太陽光発電の普及を目指して取り組みを行っています。
- ・市立小・中学校などの公共施設において、太陽光発電システムを積極的に導入しました。現在の導入実績は15か所、400kWとなっています。
- ・クリーンエネルギー自動車の普及に向けて、公用の電動バイクを全国的に先駆けて導入するとともに、市営駐車場に電気自動車用普通充電器を設置しました。

#### <実績>

##### 1. 自然エネルギー利用の普及

###### ○住宅用太陽光発電システムの導入促進

住宅に太陽光発電システムの導入を実施する市民に対して、その経費の一部を助成した。

(交付件数：H22年度 23件、H23年度 109件(2月22日現在))

###### ○市民共同発電所への支援

市民等の出資・寄付等による市民共同発電所(太陽光発電や小水力発電など)の設置に向けた活動を支援した。

###### ○公共施設への太陽光発電システムの導入

市立小・中学校などの公共施設に太陽光発電システムを導入した。

(太陽光発電出力合計：H24年1月末現在 400kW)

###### ○東部清掃工場への廃棄物発電の導入

東部清掃工場に4,500kWの廃棄物発電設備を導入した。

##### 2. クリーンエネルギー自動車の普及

###### ○環境にやさしい公用バイクの導入

公用車の使用に伴い排出する二酸化炭素を削減するため、全国的にも先駆けて15台の電動バイクを導入した。

###### ○電気自動車用普通充電器の設置

市営駐車場に電気自動車用普通充電器を設置した。

<b>V. 行政における温室効果ガス排出抑制の率先行動</b>	
<b>1. エコオフィスの推進・地球温暖化防止実行計画の推進</b>	
<b>2. 学校版環境マネジメントシステム（S-EMS）の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「枚方市役所 CO2 削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」に基づき、市役所の事業活動から発生する温室効果ガスの排出削減（平成 24 年度に 17 年度比 17%削減を目標）に向け、様々な取り組みを行いました。平成 22 年度の市役所における温室効果ガス排出量は、17 年度比で 19.8%削減しています。</li> <li>・平成 21 年度に、「枚方市グリーンニューディール基金」を創設し、この基金を活用した市庁舎の省エネ改修などの地球温暖化対策を実施しました。平成 23 年度も同基金を活用し、地球温暖化対策を実施しています。</li> <li>・平成 23 年度は「ひらかた夏（冬）の節電行動計画」を策定し、庁舎等の節電に向けた取り組みを強化しています。</li> </ul>	

**<実績>**

**1. エコオフィスの推進・地球温暖化防止実行計画の推進**

○市庁舎等の省エネ改修

市庁舎等における照明の高効率化や空調機器の更新による省エネ化を図った。

○道路照明の LED 化

道路照明を省エネ効果の高い LED 照明に更新した。

（灯数：H22 年度 20 灯、H23 年度 29 灯）

○ひらかた節電行動計画の推進

「ひらかた夏の節電行動計画～ひらかた Power Saving Plan 2011～」及び「ひらかた冬の節電行動計画～ひらかた Power Saving Plan 2011～」を策定し、庁舎等の節電対策を推進した。

**2. 学校版環境マネジメントシステム（S-EMS）の推進**

○学校版環境マネジメントシステム（S-EMS）

市立の幼稚園・小中学校において市独自の環境マネジメントシステムを運用し、環境保全の取り組みを推進した。

## 循環型社会の構築

- ・平成 20 年 2 月から全市域でペットボトル・プラスチック製容器包装の分別収集を開始し、「北河内 4 市リサイクルプラザ（かざぐるま）」に搬入後、中間処理（圧縮・梱包）を行い、再資源化・再商品化を行った。
- ・平成 20 年 12 月に東部清掃工場を稼働させ、焼却灰の熔融処理による埋め立て処分量の削減や廃棄物発電設備など先進的な処理システムの導入を行った。
- ・平成 21 年 6 月に「新・循環型社会構築のための枚方市一般廃棄物減量及び適正処理基本計画（改訂版）」を策定し、ごみの発生抑制を最優先とし、市民・事業者・行政の参加と協働を基本に、循環型社会の構築と焼却ごみの半減を目指しています。

### <実績>

#### ○ペットボトル・プラスチック製容器包装の収集

平成 20 年 2 月から全市域でペットボトル・プラスチック製容器包装の分別収集を行った。

（分別収集量：H21 年度 5,184 トン、H22 年度 5,117 トン）

#### ○スマートライフの啓発

4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の行動を推進するため、スマートライフの普及・啓発を行った。

（啓発回数：H21 年度 151 回、H22 年度 168 回）

（啓発延べ人数：H21 年度 23,860 人、H22 年度 25,236 人）

#### ○生ごみ堆肥化の促進

生ごみの堆肥化を促進するため、生ごみ堆肥化促進容器（コンポスト容器）、有用微生物群（EM）容器の貸与を行った。

（貸与世帯数：H21 年度 50 世帯、H22 年度 50 世帯）

#### ○ごみ減量講演会の開催

ごみ減量化やリサイクルを推進するため、ごみ減量講演会を開催した。

（参加者数：H21 年度 84 人、H22 年度 82 人）

#### ○再生資源集団回収の促進

古紙と古布の資源化により、ごみ減量の促進とごみ問題の意識向上を図るため、子ども会や自治会などの団体が自主的に行っている再生資源の集団回収に対して報償金交付した。

（登録団体数：H21 年度 588 団体、H22 年度 599 団体）

（回収量：H21 年度 約 21,420 トン、H22 年度 約 20,991 トン）